平成２７年度第２回（英語教育・コミュニケーション関係学）分野合同委員会議事概要
学系別ＦＤ/ＩＣＴ活用研究委員会（英語教育）
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（コミュニケーション関係学）

Ⅰ．日時：平成 28 年２月８日（月）18：00～20：00

Ⅱ．場所：私立大学情報教育協会事務局

Ⅲ．出席者：英語教育：田中委員長、西納委員、小林委員、山本委員（スカイプ）松村委員、
五十嵐アドバイザー
コミュニケーション関係学：阿部委員
事務局：井端事務局長、森下、中村

Ⅲ．議事概要
１．出席委員の紹介
委員会開催にあたり、英語教育・コミュニケーション関係学の出席委員の自己紹介が行われた。
２．英語教育・コミュニケーション関係学分野連携のアクティブ・ラーニング対話集会の開催要項及び対話集会の進め方について
（１）検討内容開催要項の検討
前回の検討を踏まえて分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の開催要項について検討した。
主な意見
・　今回の対話集会は意見交換が大事であり、アクティブ・ラーニングに関するテーマでは、質保証を促進するための能動的学修の工夫、評価方法と評価基準の設定、教学マネジメントでは教育の質的転換を推進・普及するための教育政策、分野横断、教員連携による教育体制の工夫等を意見交換することを目的としたい。
・　英語は英語、コミュニケーションはコミュニケーションという背景をもって、こういう議論を展開したい。
・　アクティブ・ラーニングで予習復習を徹底させるとすると、科目が多すぎ、再編成する必要から学位プログラム中心の科目の問題を考えようというきっかけになった。そういう本質的な話題を対話集会で展開していこうということ。
・　英語とコミュニケーション以外にも全分野案内することで分野横断で昨年とは違うスタイルで対話集会を考えている。
・　コミュニケーション能力を育成するための地域社会との連携について東京理科大とキッコーマンの連携教育を確認したが現在は実施していない。
・　専門教養教育としての英語教育がどうあるべきかということで「汎用的能力と専門的能力の統合」をテーマに関西大学の山本先生と工学部の先生に話題提供をお願いし、協力を得られた。
・　専門教育との連携では、英語の教員は専門分野と連携しようと考えるが共通理解になっていないことからこの連携についてどう考えるかの議論が必要。
・　教学システム、組織的なカリキュラムの検討が課題でありこの点も意見交換したい。
・　専門教員と英語教員が連携してプラットフォームを作って、専門知識は専門教員が、それから英語は英語教員が対等な環境を保ちながら、協働関係を作っていく展開していく関西大学の事例は参考になると思う。
・　専門教員と英語教員の協働した授業設計、授業デザインを提案し、意見交換すると

は良いと思う。

- ・　コミュニケ―ション関係では長崎大学でアクティブ・ラーニングの事例を公開しているがこの事例の話題紹介をお願いする。
- ・　英語は英語、コミュニケーションはコミュニケーションという背景をもって、知識の定着・確認、知識の活用・創造に効果的なアクティブ・ラーニングの在り方及び組織的に推進していくための教学マネジメントの工夫を意見交換する。
- ・　悩んでいるのはアウトプットの確認作業、本当に学生がアウトプットして、自分で確認して、また前の、周りの学生からそれを見て、自分の向上に繋げていくという、そういう事例があったら面白いと思う。
- ・　淑徳大学 人文学部 表現学科で行っている「今、社会で起こっていることを授業と結びつけるアクティブ･ラーニングの試み」は知識の定着に向けて英語でもコミュニケーションでも必要な事例として話題紹介をお願いしたい内容である。

（２）意見交換のテーマ

意見を踏まえて意見交換のテーマを以下のように決定した。

知識の定着・確認、知識の活用・創造に効果的なアクティブ・ラーニングの在り方及び組織的に推進していくための教学マネジメントの工夫について、下記のテーマで意見交換を行う。

＜アクティブ・ラーニングに関するテーマ＞

- ・　知識・技能・態度の活用を目指したアクティブ・ラーニング
- ・　アクティブ・ラーニングの評価方法・基準設定

＜教学マネジメントに関するテーマ＞

- ・　汎用的能力と専門的能力の統合について
- ・　教員中心の授業科目編成から学位プログラム中心の科目編成への戦略

（３）話題提供

話題提供を以下のように決定した。

①　汎用的英語能力と専門的技能の統合に向けた連携授業の試み

山本　英一　氏（関西大学 外国語学部）
安室　喜弘　氏（関西大学 環境都市工学部）
岡本　清美　氏（北九州市立大学 基盤教育センター）

②　大学や社会で求められるコミュニケーション力を高めていくアクティブ・ラーニング

富山　明華　氏　(長崎大学 教育イノベーションセンター)

③　今、社会で起こっていることを授業と結びつけるアクティブ･ラーニングの試み

杉原　麻美　氏（淑徳大学 人文学部 表現学科）

（４）開催日時と場所

開催日時　平成 28 年 3 月 21 日（月）14:00～15:00
開催場所　アルカディア市ヶ谷（私学会館）

Ｖ．今後の予定

次回は対話集会とし、当日13：00から事前打合せ会を実施することにした。